

研究機関名：東北大学

受付番号： 2014-1-506
研究課題名：両眼に線維柱帯切除術をおこなった症例の先行眼と後行眼の成績比較多施設後ろ向き研究
研究期間 西暦 2014年 11月（倫理委員会承認後）～ 2017年 4月
対象材料 <input type="checkbox"/> 病理材料（対象臓器名 _____） <input type="checkbox"/> 生検材料（対象臓器名 _____） <input type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 <input type="checkbox"/> その他（術後診察時の眼圧値 _____）
上記材料の採取期間 西暦 2007年 1月～ 2014年 10月
意義、目的：線維柱帯切除術は緑内障に対して有効な治療法の1つです。この手術を両眼に対して行ったときに、先に手術を行った眼の眼圧と、後で手術を行った眼の眼圧との間に有意差がないかを確認することが研究の目的です。有意差が認められた場合、手術順序が眼機能の予後に影響するとも考えられるため、今後の緑内障に対する線維柱帯切除術において術眼の選択方法を再考する必要性が出てくる可能性があります。
方法：2007年から2011年の間に、東北大学病院にて、両眼に対して線維柱帯切除術を施行された患者の、術直後から2014年10月までの診察時の眼圧値を収集し、解析を行います。先に手術を行った眼の眼圧と、後で手術を行った眼の眼圧との間に有意差がないかを統計的手法を用いて解析します。
問い合わせ・苦情等の窓口： 〒980-8574 宮城県仙台市青葉区星陵 1-1 東北大学医学部眼科学教室 国松志保 022-717-7294